

# 広報かわにし

一人口の動き—  
11月1日現在  
男 5,958人  
女 6,217人  
計 12,175人  
世帯数 2,604世帯

発行所 川西町役場 発行者 川西町 <町長 中村壯吉>  
編集人 星名四郎 印刷所 白南風社 定価 1部5円



(3日) 上野小学校文化祭農産物品評会場

## ◆十一月の行事

- 三日 千手小上野小橋小中赤岩小川西中学校文化祭
- 四日 白倉錦鯉品評会
- 五日 千手老人クラブ打合せ会
- 五日 白倉小中学校文化祭
- 六日 更生保護婦人会役員会
- 六日 橋老人会
- 七日 浪曲大会(橋・藤沢)

## ☑県税・個人事業税

第二期分の納期限は十一月三十日です。  
納付書は十五日ごろまでにお手許にとどくよう手配しました。すでに納税の準備ができています。納入いたします。

## ☑治山林道協会表彰

十月十七日津南町で行なわれた由魚沼治山林道協会総会の席上、町関係で次のかたが表彰をうけた。  
○小川政一氏(故人)  
前の産業課長で、永年治山林道事業につくした功績を認められた。

## ○仁田部落

部落をあげて造林事業の推進に努力をかたむけたもの。なお、仁田の小幡正徳さんも十一月九日六日町でひらかれた魚沼地方造林推進大会で部落有林の造林推進に努力された功績によって表彰をうけた。

## ☑健康優良児童

県教委などの主催による四十一

八日 明るい家庭づくり重点指導地区訪問指導会

- 九日 園年委員会
- 十日 農業委員会
- 十一日 講演会仙田中 年賀はがき売出し
- 十二日 小脇金沢道路完 正式講演会(川西中)
- 十四日 町議会
- 二十日 家庭の日
- 二十五日 国保融資委員会

## ☑寄生病予防運動

年度新潟県健康優良児童の表彰で管内では上野小学校の星名ふくみさんが郡代表(県準優良)に選ばれた。

## ☑火の用心

二十六日から火災予防運動が始まりますが、皆様のご家庭でも十分対策をね

## 広報スポット

火災の原因もいろいろありますが、石油ストーブは、発熱量が大きく、経済的であるところから普及率も高く、したがって火災を起す率も急激にふえています。しかもその使い方をよく知らずに、安易に扱って大事に至ったというケースが多いということです。その取り扱いは十分気をつけたいものです。

# 一町議会報告一 四十年年度決算を認定

## 日曜配達廃止の請願は継続

第九回臨時町議会は十月二十八日に招集され、昭和四十年年度一般特別各会計決算認定のほか、専決処分報告、四十一年度一般会計予算の補正等が上程議決された。

なお、請願については、継続審査中の三件について付託されていた常任委員会から審査結果の報告があり、うち二件は採択されたが全通労組明分会から提出されていた「郵便日曜配達廃止に関する請願」は総文委員会の報告に基づき当分の間継続審査として世論の動向を見ることとなった。

その他、新規請願も五件が上程され、うちブルの都合上早急に工事を必要とする越ヶ沢峠部落から節黒城観光道路に通ずる町道改修請願は本会議において採択、他の四件は、それぞれ所管の常任委員会に付託して継続審査とされた。

## 三億をこえる 決算額

### 施設会計の再建築 を検討

総額三億をこえる四十年年度決算は、例年より約二カ月も早く議会に提出されたわけであるが、その審議は昨年とはほぼ同じ手順で進められた。

一般会計、国保事業会計、同施設会計(診療所)、農業共済会計の四つを合計した決算の総額は、才入において三億四百二十五万円、才出において三億一千五百二十五万円。前年度に対する伸び率は約十三パーセントであるが、才入才出の差し引きは一千百万円の赤字となっている。これは施設会計の

議会としては今後における財政の健全化を要望する旨の意見が述べられて、採決の結果、全員起立のうち決算全部が認定された。

各会計の決算総額は次のとおり

才入	二二七〇三八五八八円
才出	二二三五四八六二六円
差引残高	三四八九九九二二円
◎国保事業会計	
才入	四七九八二二二二円
才出	四七九七六五〇〇円
差引残高	四六二二二円
◎国保施設会計(診療所)	
才入	一八三三三九二二円
才出	三五六九〇八七五円
差引不足	一七三五七九六三円
◎農業共済会計	
才入	一〇九〇〇五七八円
才出	八〇三七二六六円
差引残高	二八六三三一二円
◎合計(総額)	
才入	三〇四二五三二六〇円
才出	三一五二五三二六七円
差引不足	一一〇〇〇一〇七円
◎合計(純計)	
総額から繰り入れ、繰り出しの重複分を差し引きしたものが	
才入	二九八一三七一六〇円
才出	三〇九二三七二六七円
差引不足	一一〇〇〇一〇七円

## 一般会計補正は 七十三万

四十一年度一般会計の補正予算は、才入才出それぞれ七十三万五千円を追加した。その内訳は、県支出金として県知事選挙事務費の増額算分十四万四千円と国土調査事業委託金の増額分五十九万一千円が才入面に追加となり、才

出においては、県知事選挙費に才入と同額の十四万四千円を追加して備品購入費その他に充て、地籍調査費には六十五万二千円を追加して工事請負費その他各費目に計上、不足分の六万一千円は予備費から充用した。これで才入才出の累計はそれぞれ一億九千八百八十六万六千円となった。

## 川西中プール 建設ほか

### 付議された請願八件

◎請願第十七号 室島火の見櫓建設に関する請願(継続審査分)  
(要旨)室島部落の木製サイレン塔が腐朽して危険なので、鉄製の火の見櫓を建設願いたい。  
(結果)採択

◎請願第十八号 郵便日曜配達廃止に関する請願(継続審査分)  
(要旨)郵便物の日曜配達を廃止することにより、担当職員が日曜に休業できるよう理解と協力を願いたい。  
(結果)当分の間継続審査

◎請願第十九号 町道元町下平線改修に関する請願(継続審査分)  
(要旨)昨年に引きつづいて部落内より前年度改修地点に接続するまでの間を改修したいので町費助成を賜りたい。  
(結果)採択

◎請願第二十一号 南原開田に伴う通学道路拡張に関する請願  
(要旨)開田に伴い川西中学通学道路の拡張工事を施行したので助成を願いたい。  
(結果)継続審査(土厚付託)

◎請願第二十二号 越ヶ沢峠地内

道路改修工事に関する請願  
(要旨)越ヶ沢峠部落から節黒城観光道路に通ずる区間(六百メートル)を改修されたい。  
(結果)採択

◎請願第二十三号 川西中学校水泳プール建設に関する請願  
(要旨)川西中学校に競泳プールを建設していただきたい。  
(結果)継続審査(総文付託)

◎請願第二十四号 中仙田保育所建築費助成についての請願  
(要旨)中仙田保育所建築費(三百八十二万七千円)に対して何分の助成を賜りたい。  
(結果)継続審査(土厚付託)

◎請願第二十五号 県道改修に伴う橋農協移転に関する請願  
(要旨)県道改修舗装に伴い、農協建物の移転改築についての助成と町有地の一部払い下げを願いたい。  
(結果)町有地二十五平方メートルについては無償払い下げとし、その他については継続審査(産経付託)

## 月岡校長から 帰朝のあいさつ

十月二十八日臨時議会の当日、十月二日から二十四日までヨーロッパの教育事情を視察された月岡千手小学校長から帰朝のあいさつが述べられた。要旨次のとおり。

三週間でイギリス、フランス、スイス、イタリア、オーストリア、ドイツ、オランダの七カ国を駆け足でまわったので、学校を見る機会がたくさんあったわけではなく、

一般的状況の視察が多かった。教育面については、いろいろ特色のある点もあったけれども、一般的にはむしろ日本の教育のほうが進んでいるのではないかと感じを受けた。都市や農村の状況については土地の事情も違うけれども農業方面は非常に大農的なやり方であった。しかし都会は日本のほうがかえって科学的に進んでいるように感じた。ヨーロッパは歴史を非常に重んじてその上に立ってことをやっているの、その点学ぶべきものがある。なお、これからの人間はある程度語学ができなければならぬことをつくづく感じた。英語を少しぐらいかじったくらいでは状況がうまく察知できない。今後は各国のことを知って、いるような人間が相当出なければならぬ。

町から多額の区別をいたいたことに対しては、今後何かの面で子供たちに恩返しをしたい。

## 名著案内

子どもの四季刊行会から、駒形さとし著「子どもの四季」が刊行される。古くから中魚沼地方に伝わる守唄、わらべこは、軒あそび、庭あそび、辻わざ、こはあそび、昔ばなし、祭り子ども学びとしつけ、などがわかりやすく、おもしろく、二百ページを費して収録されている。活版刷りで一冊五百円、十一月末までに限定出版する。希望者は十一月二十五日まで、代金を添えて町教育委員会あてに申し込んでください。

# 桐山部落を松代町へ合併

## 十四日に両町で臨時議会

桐山部落を川西町から分町して松代町へ合併することについては、昨年来両町で話し合いを進め、すでに合意に達しており、このほど事務的の準備も完了したので、きたる十一月十四日に両町で臨時議会を招集して地方自治法第七条の規定による「町の境界変更」の議決を行なうこととなった。この議決を行なったのち、両町で所定の審議を県知事に提出し、十二月県会で議決の上来年の四月一日に松代町に合併する予定である。

なお、十四日に提出される案件は次のとおり。

一、町の境界変更について

# 納税者の声を聞く旬間行事予定

(10日・19日)

1. 投書箱の設置
2. 納税者の声を聞く会
3. 納税表彰式
4. 時までに於川西町商工会
5. 11月11日(金)1時30分から
6. 11月18日(金) 県信用組合
7. 十日町支店ホール
8. 書面による世論調査
9. 約百名程度の納税者を選定して郵便により実施
10. 署長あての手紙
11. 「税務署長にも申す」式の手紙の募集を行なう
12. 図表等の展示

二、新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加について

三、消防ポンプ自動車(千手)更新に関する請願

### 小・中学生の

## 防犯標語を募集

一、趣旨及び内容

青少年を非行から守ることは今日最大の課題である。非行を予防し、非行におちいった青少年が立ち直るよう温い手をさしのべることに、それぞれの立場で協力しなければならぬ。このため、青少年自身の自覚をたかめるとともに、地域社会の理解と協力が最も求められる。

これら青少年の非行防止について、わかりやすく表現した標語を募集する。

- 一、主 催
- 二、川西町分区保護司会
- 三、川西町防犯組合
- 四、川西町青少年問題協議会
- 五、応募資格
- 六、川西町小中学校生徒
- 七、方法
- 八、一人が三点までとし小中学生はクラスでまとめ、学校名、学年、氏名を記入する。
- 九、あて先
- 十、川西町役場社会係
- 十一、切

十一月二十五日必着のこと。

七、発表

中学生、小学生に分けて審査し秀作あわせて十名、佳作二十名に対し賞品を贈る。

広報かわにし十二月号に発表の予定。

### 本年度健康優良児

## 二十二名を表彰

本年度川西町健康優良児として昨年四月から本年三月までの間に出生し、現在町に在住する百六十名の内から選ばれた二十二名は十月二十五日母子健康センターにおいて新潟県知事代理臨席の上、町長から表彰状並びに記念品が贈られ表彰された。

### 学校を統合しよう

十月のなかば、町の教育委員に随行して南魚の湯沢中学校を視察した。湯沢中は、町の中心部から約二キロも離れた、神立地内の静かな段丘にあった。高等学校も願ひの、川西中学校をいまより大きくしたような鉄筋校舎、超デラックスな屋内体育館、自校のほか町内全小学校の完全給食を受け持つという調理室、遠い生徒を冬の間収容する寄宿舎、日本陸運公認のグラウンドなど、すべての面にこまかい配慮が払われており、六百名を越える生徒が、父兄の期待に答えるかのように学んでいた。

湯沢中は、これまでいくつかがあつた中学校を統合し、ことしの四月から一町一校の湯沢中として発

## 昭和41年度 健康優良児名簿

川西町

部 落 名	乳 児 氏 名	父	母	続 柄	備 考
野 口	村越 敬太郎	敬 一	ハ ツ	長 男	郡2位
小根岸	小 海 一郎	益 男	セ ツ	長 男	郡入賞
霧 谷	佐 藤 旭	春 男	増	二 男	"
学校町	五十川 一幸	庚 平	幸 子	長 男	
沖 立	数 藤 正徳	徳 義	和 子	長 男	
新 町	内 山 和明	武 勇	満 枝	長 男	
鶴 吉	渡 辺 豊	強	ヤヨヒ	長 男	
高原田	丸 山 道弘	清	君 子	長 男	
上 野	関 口 裕二	俊 雄	勝 江	二 男	
伊 友	星 名 正人	正 男	キクエ	長 男	

女 子

坪 山	高 橋 真希子	藏 作	巴	長 女	郡入賞
鶴 吉	田 村 富美子	一 策	興 子	長 女	"
中央町	澁 谷 理子	久	サチ子	二 女	
上 野	根 津 とし子	精 一	郎 ヒロ	長 女	
仁 田	山 口 裕子	隆 也	紀 子	長 女	
高原田	丸 山 由紀子	敏 夫	フ ミ	長 女	
根 深	丸 山 良子	悠 吉	ト リ	四 女	
藤 沢	小 林 弘美	弘	芳 江	長 女	
仁 田	小 幡 千春	正 昭	ヨ シ	長 女	
藤 沢	茂 野 一美	博 一	セイ子	長 女	
小根岸	小 海 さとみ	喜 久	雄 千 春	長 女	努力賞
上 野	田 村 良子	賢 太	郎 子	長 女	"

足した。山また山のへき地が多いのに分校は一つもない。湯沢へ出るよりは、群馬県の中学へ行くほうが近いという浅員の生徒も、往復五十キロの道をいとわずに通学している。越後交通と話しあい、バスの運行時間を学校の始業に合わせてもらったそうだ。学校から半経四キロ以内に

住む生徒には、交通事故の防止と身心鍛練のために、自転車通学をいっさい認めていない。

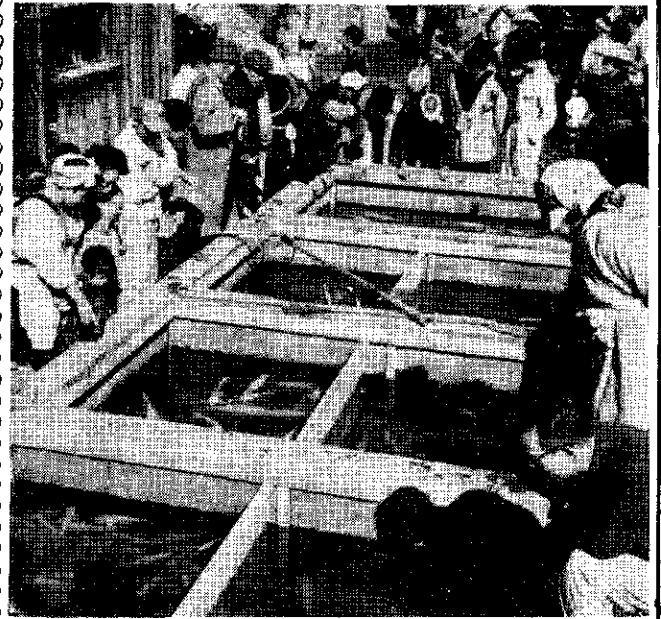
山奥の子どもに劣等感はないか、生徒の間に地域差はないか、と聞いたら、その心配は全然ないという答えだった。その理由は学校給食だとのこと、町場の大きな温泉旅館のアンニヤネも、さい果ての農家のムスコやムスメも、みんなが同じ給食を受けているからたことであつた。生徒の学力や平均体位が、他校に比べてはるかに高いのは、すぐれた教育環境や教材教具、徒歩通学や完全給食のおかげだと聞いた。

川西町の現状に目を向けてみよう。シリ貧の財政にカーテンを引

き、校区ごとにバラバラに活躍して、さやかな給食施設にをどう整理するかは、賢明な町民各位のご判断にお任せする。

湯沢町の視察以後、教育委員の目つきが違つてきた。どこから先手を付けるか、やがて統合の火ぶたは切られよう。その前に、P地を視察し、統合に拍車をかけてくれることを期待したい。知識を町外に求め、学校統合をはかれ。





### 白倉錦鯉品評会

#### 紅白・三色物が評判

秋晴れにめぐまれた十一月四日、白倉錦鯉品評会が開かれた。中越農業事務所長、十日町普及所長、町から町長はじめ産業課長、小千谷錦鯉業者多数参加のものに村をあげて日ごろ愛育の錦鯉の美しさを競いあった。(写真)

昭和三十八年から始まった白倉の養鯉は、豊かな水と土質、とくに水質の良さにめぐまれ本年度は約六百五十万円からの収穫が見込まれ、米年度はその目標を二千万円とし、着々とその成果を上げつつ将来は米をうわまわる大きな農業収入になるうとしている。

当地は水と土の関係から、紅白三色物の鯉が特に美しく、そのあざやかな紅は他に類がなく白倉の特産として今後その発展がおおいに注目されている。

近年の錦鯉ブーム、釣堀ブームで売れゆき、価格も高く、特に良いものは鑑賞用に万金をもって売られ小さいのは釣堀用として都会地へどんどん運ばれる。

ブームに乗って各地で盛んに研究増産がなされている折柄、今後他に取れないだけの努力も必要とされるだろう。

### ビタミンAとDの話

冬が近づきましたが、太陽に当る機会が少なくなります。そこで、いまのうちに太陽に当り、食物も緑や黄の色の濃い野菜を多くとって冬に備えたいものです。

ビタミンAは色の濃い野菜にカロチンという名まえでたくさん含まれており、動物性でもウナギ、サンマ、バター、マーガリン、肝油、たまごなどに多くあります。

そして動物性一〇〇に同じ植物性二〇〇くらいで同じ働きをして熱には強いが、紫外線や酸には弱く、緑色の野菜が、とってから日に当てたまま長くおくと黄変し、酢につけると脱色するのはご存じのとおりです。

冬の乾燥、病気に對する抵抗力がなくなります。

ビタミンDはバター、たまご、肝油、干椎茸に多く含まれていてはか、わたしたちの皮下脂肪の中で、直接皮膚が紫外線に当ることによってビタミンDにかわるプロビタミンDというものがあります

### 保健婦だより

日ごろ乳幼児に日光浴をすすめるのもこのためであり、皮膚を刺激することによってからだの抵抗力が付き、かぜもひかなくなるのです。これの不足によってケル病、骨軟化やむし歯にもなり易いといわれています。

このふたつのビタミンは脂溶性ビタミンといって、油といっしょ

### 今月の相談日

- 千手 十一日 二十五日
- 上野 四日 二十四日
- 橋 一日 十四日
- 仙田 七日 二十二日

### 歩行者の心得

歩道のない道路では、かならず道路の右端を歩きましょう。身体障害者用の車いす、うば車、小児用自転車なども、歩行者と同じです。数人がいっしょに歩くとともに横に並んで歩くのはやめましょう。学生や生徒の行列などは、車道の右端を通れます。百人以上の示威行進などは、かならず車道の右端(とくに警察官が指示したところでは左端)を通りましょう。

### タバコは地元で買ひましよう

出稼ぎや旅行などの場合は、ぜひ私たちの町から、タバコを買って行きましょう。

私たちの町のタバコ屋さんから買うことによって、二十本入のタバコ一個につき

八円八十銭

五円二十八銭

新潟県へ

### 戸籍の窓から

#### うぶ声—御すこやかに

- 高橋 誠 一男長男 坪山
  - 清水 和伸 角二長男 神社町
  - 八子 敦子 繁 長女発電所通
  - 阿部 謙一 謙吉長男 田中
  - 阿部 泉美 巖 長女 中島町
  - 秦野由美子 藤一長女 仁田
  - 滋野 悟史 一男二男 仁田
  - 田中 且子 英雄長女 仁田
- 十一月十一日からお年玉つき
- 年賀はがきを発売
- 昭和四十二年の新年用お年玉つき年賀はがきは、十一月十一日から全国いっせいに売り出されます。売り出し枚数は、昨年より九千万枚多い十三億枚。寄附金つきは八円はがきは六億五千万枚。寄附金なしの七円はがきは同じく六億五千万枚です。
- 年賀はがきの寄附金は①社会福祉事業団②風水害、震災など非常災害による被災者の救助にあたる団体③ガン、結核、小児マヒなどの研究、治療を行なう団体④原爆被災者の治療援助を行なう団体

### かわにし俳壇

小白倉 江口 凡石

一社五戸点々と柿紅葉かな

○深露に切れなんととして蜘蛛の糸

○夕時雨刈田を家鴨帰る来る

秋の寂日々深まり雨つづく

大倉 金子 洋石

はや灯す家の低きへ柿赤く

朝寒や壁に動かぬ虫一つ

大倉 中條クミ子

連休の稲を刈りをり惜しみなく

刈り終えし落穂拾うもイモ子稲

かがやける夕日の中の稲掛ける

千粒の中の落葉の二三枚

赤谷 高橋 漢舟

野路行けば草弓なりに露深き

